

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	総合医学演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	種村啓司、副田恵子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸専門学校の最終目標としてあるのは、国家試験に合格し免許を取得することにある。本時は、はり師・きゅう師の国家試験の合格を目指し、その試験対策に重点を置いた授業を行う。前期においては、解剖学・生理学・東洋医学概論を中心に学習し理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
前期末模擬試験にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋医学概論 解剖学、生理学 鍼灸学基礎篇、臨床篇						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の学習を進めていくこと						
《履修に当たっての留意点》						
必ず復習をし、国家試験過去問題へとつなげていき、知識を活用できるようになること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	鍼灸国家試験に対する勉強のやり方を理解し、説明が出来る。	解剖学・生理学 のテキスト	近い年度为国家試験1回 分を実際に解いてみること	
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション 近年の国家試験を取り巻く状況 国家試験の勉強をする上での考え方・学習の方法				
第17回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学 のテキスト	授業予定の範囲における 重要語句の暗記と、その意 味や構造の説明がある程 度出来るレベルまでテキ ストをチェックする	
	各コマに おける 授業予定	解剖学:第1章 人体の構成(外表構造は除く) 第10章 運動器系の骨格系(総論と全身の骨格 生理学:第1章・第2章				
第18回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学 のテキスト	授業予定の範囲における 重要語句の暗記と、その意 味や構造の説明がある程 度出来るレベルまでテキ ストをチェックする	
	各コマに おける 授業予定	解剖学:第10章 運動器系の「筋」に関する部分 生理学:第3章、第4章、第5章				
第19回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学 のテキスト	授業予定の範囲における 重要語句の暗記と、その意 味や構造の説明がある程 度出来るレベルまでテキ ストをチェックする	
	各コマに おける 授業予定	解剖学:第2回と第3回の授業範囲 生理学:第6章、第7章				
第20回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学 のテキスト	授業予定の範囲における 重要語句の暗記と、その意 味や構造の説明がある程 度出来るレベルまでテキ ストをチェックする	
	各コマに おける 授業予定	解剖学:第3章、第4章、第5章、第6章、第7章 生理学:第8章、第9章、第10章				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第2章 脈管系 第8章 神経系(伝導路と脊髄神経と自律神経系は除く) 生理学:第10章のN(自律神経のところ)、第11章、第12章			
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第8章、第9章、第10章(運動器系の頸神経叢、腕神経叢、 腰仙骨神経叢のところ) 生理学:第13章、第14章、第15章			
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第1章 人体の構成(外表構造は除く) 第10章 運動器系の骨格系(総論と全身の骨格) 生理学:第1章・第2章			
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第10章 運動器系の「筋」に関する部分 生理学:第3章、第4章、第5章			
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第2回と第3回の授業範囲 生理学:第6章、第7章			
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第3章、第4章、第5章、第6章、第7章 生理学:第8章、第9章、第10章			
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第2章 脈管系 第8章 神経系(伝導路と脊髄神経と自律神経系は除く) 生理学:第10章のN(自律神経のところ)、第11章、第12章			
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学:第8章、第9章、第10章(運動器系の頸神経叢、腕神経叢、 腰仙骨神経叢のところ) 生理学:第13章、第14章、第15章			
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学、生理学のテキストすべての範囲			
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
	各コマにおける授業予定	解剖学、生理学のテキストすべての範囲			